

ギリシャ概況(2026年3月)

【経済】

ギリシャ経済に関するギリシャ銀行の新予測(2026年3月21日)

中東での戦争によるエネルギー価格の急騰を受け、ギリシャ銀行はギリシャ経済の見通しを修正した。ギリシャ銀行の「ギリシャ経済に関する簡易報告書」によると、戦争による追加の財政・金融政策措置がない場合、2026年の経済成長率は2.1%から1.9%に下方修正され、2027~2028年は2%と予測、ユーロ圏の成長を上回る見通し。インフレ率は2026年に3.1%と高水準で推移すると予想され、従来の2.1%から上昇。エネルギー価格の落ち着きに伴い、徐々に緩やかになる見込み。

<https://www.ekathimerini.com/economy/1298745/first-war-signs-in-economy/>

ワシントンで ONEX・ハンファの造船・エネルギー協力協定を締結(2026年2月26日)

2月25日、米国運輸省でギリシャの ONEX 造船・技術社と韓国のハンファ・パワーシステムズ社の協力協定が締結された。ギリシャ外相ジョージ・ゲラペトリティス氏と米国国務副長官マイケル・リガス氏も出席した。ゲラペトリティス外相は「防衛は我々の同盟の柱であり続けるが、今後の協力は経済外交、エネルギー、人工知能、造船という戦略的な交差点にある。ギリシャや韓国のような信頼できる同盟国と協力し、米国の造船を再活性化することは正しい方向への決定的な一歩だ」と述べた。

<https://www.amna.gr/en/article/973059/US-Greece-ONEX-Hanwha-agreement-for-shipbuilding-and-energy-cooperation-signed-in-Washington>

【政治】

ゲラペトリティス外相、ルビオ米国務長官とワシントンで「前向きな」会談(2026年2月27日)

ゲラペトリティス外相は、ルビオ米国務長官とホワイトハウスにおいて、「非常に前向きな雰囲気」で50分間の会談を実施した。

会談では、戦略的なギリシャ・米国パートナーシップの重要性が強調され、今年後半にアテネで開催予定の第6回ギリシャ・米国戦略対話について最終調整することで合意した。両首脳は、経済外交、貿易・投資、海運、エネルギー、AI、高度技術分野での協力強化にも重点を置き、インド・中東・欧州経済回廊(IMEC)を含む地域間協力についても議論した。さらに、東地中海におけるギリシャの戦略的ハブとしての役割、欧州・大西洋関係、そして中東におけるキリスト教徒保護の重要性が強調された。会談では、ガザやキプロス問題を含む中東情勢についても意見交換が行われた。本訪問は、トランプ大統領の第2期任期中におけるゲラペトリティス外相の国務省訪問として2回目。

仏マクロン大統領、希ミツオタキス首相、キプロスのプリストウリディス大統領3カ国会談(2026年3月10日)

マクロン大統領は、同島にある英国軍基地がドローン攻撃の標的となったことを受け、「キプロスへの攻撃は欧州全体への攻撃である」と述べた。フランス、イタリア、スペイン、ドイツなど複数の欧州諸国はキプロス周辺に海軍部隊を展開しており、フランスはこれに加え、防空システムおよびフリゲート艦を派遣している。また、マクロン大統領はキプロス訪問中に東地中海で活動中の空母シャルル・ド・ゴールも視察した。

ミツオタキス首相は、キプロス情勢がギリシャにとって引き続き最優先課題であるとし、たとえ単独であっても支援する姿勢を示す一方で、現時点での欧州の結束を強調した。三首脳は、昨今の展開は専守防衛に留まり、キプロスの安全保障強化を目的とするものであると強調した。

さらに会談では、中東地域の不安定化、特にレバノン情勢やホルムズ海峡の緊張に伴う世界貿易への影響についても議論が行われた。ギリシャ当局は、EU の海軍ミッション「アスピデス作戦」は、内容が紅海およびアデン湾における商船保護に限定されており、ホルムズ海峡への展開拡大の計画はないと説明した。

戦略的軍事施設に関連するスパイ活動の疑い事案を捜査中。(2026年3月2～3日および3月27日)

ギリシャ当局は、戦略的軍事施設に関連する2件のスパイ活動の疑い事案について捜査を進めている。

最初の事案では、アテネ国際空港で拘束されたジョージア国籍の男が不法入国の罪で禁錮2年の判決を受けた。一方で、スーダ湾海軍基地の写真撮影に関与したとされるスパイ活動の疑いについては、別途捜査が行われている。

別の事案では、クレタ島ハニアにおいてポーランド国籍の男が拘束された。同容疑者はスーダ湾基地近くで軍事施設を撮影していた疑いがあり、数か月間にわたり現地周辺に滞在していたとみられている。検察当局はスパイ活動の罪で起訴する見通しであり、国家情報局(EYP)が本件の評価を進めている。

<https://www.ekathimerini.com/politics/foreign-policy/1298376/documents-detail-poles-alleged-espionage-activity-at-souda-base/>

<https://neoskosmos.com/en/2026/03/03/news/greece/greece-arrests-georgian-suspected-of-spying-on-base-used-by-us-media/>